

科目名	アジアの観光事情	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			観光学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Sightseeing circumstances of Asia.	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	横田 恵三郎	修得単位	2単位
授業のテーマ	益々日本とアジアとの関連な観光交流が見通される中、まず UNESCO の三大遺産事業についてその概要を学習し、次に日本を含め多くの遺産を擁するアジアについて、各国の遺産に触れることによって似て非なる歴史、文化、社会等を抱える各国の事情や特徴について理解し、知識を深める。		
授業概要	UNESCO の三大遺産事業の仕組みや概要、アジア各国の基礎知識、代表的世界遺産、文化や習慣等に関心を持ち理解できるように、画像、映像等をも活用しながら講義していくこととします。アジア各国にはそれぞれに特徴がありますが、それらを学習してアジアへの理解を深めていきます。		
到達目標	UNESCO の三大遺産事業とそれに基づくアジア各国の代表的世界遺産を通して、各国の特徴ある文化や習慣についての理解を深めることが出来ます。将来、学生の皆さんがアジアの国々を訪問することを想定して、予め知っておいた方が良い基本的な知識が得られます。		
授業時間外の学習	基本的な内容について復習テストを頻繁に行います。日頃から旅行番組や旅行雑誌に触れるようにして下さい。		
履修条件	将来、アジアに留学したり、関係する仕事に就きたいと思っている人は是非履修してください。また各国はそれぞれ異なる特徴ある観光事情を有しています。夫々を混同させぬよう復習を怠らないこと。		
授業計画			
第1回	ガイダンス アジアの地理を知る。		
第2回	UNESCO 三大遺産事業とは		
第3回	復習テスト 世界遺産登録のプロセスと仕組み		
第4回	世界文化遺産、世界自然遺産、世界複合遺産とは①		
第5回	復習テスト 世界文化遺産、世界自然遺産、世界複合遺産とは②		
第6回	復習テスト 無形文化遺産とは①		
第7回	無形文化遺産とは② 日本の世界遺産、無形文化遺産		
第8回	世界の記憶とは 復習テスト		
第9回	インドの代表的世界遺産と歴史、文化の特徴		
第10回	復習テスト 中国の代表的世界遺産と歴史、文化の特徴		
第11回	タイの代表的世界遺産と歴史、文化の特徴		
第12回	インドネシア、マレーシアの代表的世界遺産と歴史、文化の特徴		
第13回	復習テスト 韓国の代表的世界遺産と歴史、文化の特徴		
第14回	ベトナム、カンボジアの代表的世界遺産と歴史、文化の特徴		
第15回	ラオス、ミャンマー、ネパールの代表的世界遺産と歴史、文化の特徴 まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	毎回、関連する資料を配布します。		

参考文献・資料	授業中に紹介します。
成績評価の方法	定期試験 50%、授業態度・取組姿勢 50%とし総合評価します。
成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	① 毎週火曜 午前中 ②毎週木曜 午前中
学生へのメッセージ	観光関連企業への就職を考えている皆さんはもちろんのこと、一般企業であれ公務員であれ仕事に就けば必ずや海外とりわけアジアの国々(人々)との関わりがでできます。その時に戸惑うことなくアジアの知識を身に付け、頭の中を整理しておきましょう。